

EDITOR'S ROOM

▼16生

田中 栄一郎

出来上がった原稿を見て、かなり驚きました。これは凄い。と。新編集長の頑張りもあって、今までより良い飛翔になったと思います。飛翔の歴史を見てもらえばそれぞれの世代の編集員達の頑張りが見て取れると思います。これからもそんな飛翔であってほしいと願っています。

▼17生

石谷 絢

学生インタビュー、OB&OG紹介を担当させてもらいました。今回の取材でも素敵な出会いやたくさんの新しい発見を頂き、自分にとってもたいへん有意義でした！ありがとうございます。

沖原 英奈

自分の担当した原稿はどうにか書くことができましたが、あとは任せっきりになりました。みなさんお疲れ様でした。

川口 由紀

今回は飛翔の歴史を担当しましたが、過去の飛翔を見てみると、時代性を感じることが

でき、かなり楽しみながら記事を書いていました。抜粋したいところが多く、全部掲載できないのが残念でした。

斎藤 佑亮

今回は飛翔に参加するかどうか迷ったのですが、やはり参加して良かったです。取材や編集作業を通しての経験は自分にとってプラスになることばかりでした。ありがとうございました。

杉本 千明

インタビューとは、自分自身の勉強である。院生の方々、たいへんお世話になりました。Thanks a lot!!

高木 史

今回は一年生の頑張りでとても良い飛翔が出来上がったと思います。私も、事務の方をはじめとする多くの方の助けを得て、担当のページを仕上げることができました。ありがとうございました！

福岡 いずみ

今回も楽しく飛翔を編集することができました。読者の皆さんにも楽しんで読んでいただきたいです。

藤山 文

今回は学生紹介とOB・OG紹介をやらせていただきました。インタビューものが多い

いろんな方の話を聞くことができ、とても貴重な体験となりました。

松尾 享祐

今回も飛翔の表紙の作成をやらせて頂きました。次回からは表紙は次の担当者が作ることになると思います。全三回の表紙制作は良い経験になりました。

見世 梨沙

毎回、本当に多くの方のご協力を得ています。ありがとうございます、の一言に尽きます！

宮下 綾奈

一号分の飛翔を作り上げるためにこんなにたくさんの方が！今回第七十号となりましたが、これからも皆の熱意のこめられた飛翔で居てください。

村上 真理恵

一度は閉会が危ぶまれた座談会ですが、皆様のご協力により無事開くことができました。これからも「みんなの飛翔」でありたいと思います！

▼18生

荒川 洸一

インタビューして、普段、話せない人と話すことができとてもよかったです。先輩・友達・事務員の方々の協力に感謝です。

五十嵐 太郎

座談会の写真撮影を担当しました。同級生の考えや、先生のお話を聞くことができ、とてもためになりました。

伊東 遥

今回、初めて『飛翔』の活動に参加しました。まだ右も左も分からず、全てが手探りでしたが、先輩方がやさしく指導してくださって助かりました。次回は今回の経験を活かして、がんばりたいと思います。

小野 未千恵

取材が楽しかった分、文字数の関係で内容の全てを伝えられないことに罪悪感を覚えてしまいました。次は今回より上手にまとめたいです。

佐師 智郁子

OB&OGと学生紹介を担当し、いろいろな話を聞くことができました。これからも、飛翔を通じて多くの人や物事に会っていくことを楽しみにしています。

野村 晶二郎

バイトやらサークル×2やら飛翔やらキャンプの企画やらテストやら正直死にそうなくらい忙しかったけど、よい経験でした。

濱本 明恵

飛翔初参加です！座談会と研究室紹介を担当させていただきました。先生方の話はためになり、学生たちの話は楽しく、よい経験となりました。

▼教員・事務の方々

坂田 桐子先生

『飛翔』編集委員会の編集長という立場でしたが、今号についてはそれらしい働きは何もできませんでした。学生編集員の皆さんのパワーと働きぶりにただ感謝するばかりです。次号はもう少し何か貢献できれば、と思っています。

田中 晋平先生

飛翔編集委員として就任したものの、仕事は全て編集長以下スタッフに丸投げしてきましたが、取材、インタビュー、映画レビューから歴史記事、座談会まで、とても盛りだくさんな内容をよくまとめ上げてくれました。あらためて学生の實力を認識させられました。

田内 和夫さん

学生の手から手へ、途切れることなく三十二年に渡り引き継がれ発行されてきた「飛翔」。今回節目の七十号が出来上がりました。携わって来られた編集委員の地道な努力に感謝し、八十号、百号と「飛翔」し続けることを願います。

武智 哲也さん

今回も、総合科学部で活躍されているみなさんの活き活きとした表情が、飛翔の記事とおしてしつかり感じとれます。その裏には見世編集長をはじめ、編集員の多大な苦勞があります。みなさん、本当にお疲れさまでした。

